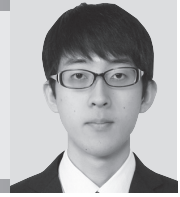


図書館《私の使い方》

浅島 裕行



皆さんはアジア関係図書館（分館）を利用したことはありますか？中国語学科の私は中国語検定の勉強や卒業論文の作成、中国の小説を読んだり、本館以上に利用しています。しかし、中国語学科以外の友達に聞いてみると、「行ったことがない」や「初めて知った」という返答が多く、残念でなりません。そこで、今回はアジア関係図書館について皆さんに知ってもらいたく、ご紹介したいと思います。

本館は7号館の1階にありますが、アジア関係図書館は国際交流会館（9号館）の2階にあり、その名の通り、中国を中心としたアジアに関する図書が揃っています。中国の雑誌や中国語の勉強に役立つ図書、『三国志』や『西遊記』、『封神演義』といった馴染みのある文学作品など馴染みのある本も置いてあります。専門的なものになると中国関係の研究資料や西洋言語で書かれた日本研究資料なども備えており、アジア研究の拠点となっています。その文献の多さは他大学の図書館と比較しても充実しており、私も

卒業論文作成の際は大変お世話になりました。

特に、私がおすすめとする点は、アジア関係図書館の雰囲気です。スペースこそ本館に比べて狭いですが、こじんまりとして落ち着いた雰囲気があり、勉強・読書・休憩に、ゆったりと過ごすことができます。授業の教室に近いこともあり、留学生にもよく利用されます。また、利用者が少なめなので、他の利用者の目を気にすることも無いでしょう。

拙い説明ですが、アジア関係図書館について知っていただけでしょうか？新入生の方やあと1年で卒業という方にも、中国関係の図書を読んだり中国語の勉強をする以外に利用価値があるものだと、私は思っております。私自身、中国語の検定試験対策本を借りるために訪れたのが最初ですが、今では暇さえあれば足を運んでしまうほどです。これをきっかけにアジア関係図書館に興味を持ってくださったなら幸いです。

あさじま ひろゆき (2012年度中国語学科卒業生)

